

草加市立歴史民俗資料館

れきみんだより vol.7



来館者 30 万人達成記念式典の集合写真

みなさんにお越しいただき、来館者 30 万人達成！！

達成日：令和元年 11 月 13 日（水）

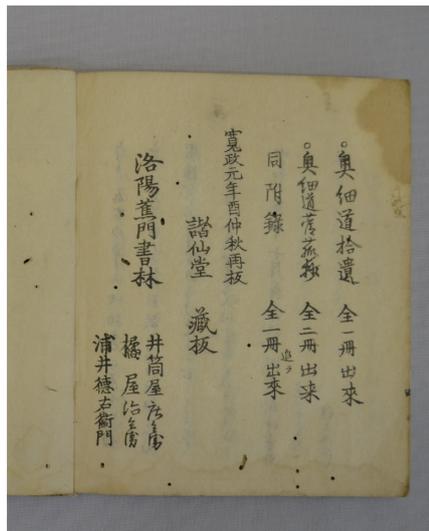
令和元年（2019）11月13日、歴史民俗資料館の開館以来の来館者数が30万人を達成しました。

達成者は、社会科見学で訪れていた八幡北小学校3年生と展示見学を訪れていた市民の方です。30万人達成をお祝いする式典には、浅井昌志市長も駆けつけられ、お祝いの言葉とともに達成証を授与していただきました。

大正15年（1926）に建てられた草加小学校西校舎を活用し、市内初の文化財保護施設

として歴史民俗資料館が開館したのは昭和58年（1983）のことです。開館したころは6千人程度だった年間来館者も、おかげさまで近年は1万5千人を超えるようになりました。校舎だったころに学ばれた方がお孫さんを連れてご来館いただくことも多く、世代を超えて愛されていることが職員の誇りでもあります。

これからも多くの方にご来館いただけるよう、100万人の来館者を目指して頑張ります。



『おくのほそ道』は、元禄2年（1689）3月から9月にかけて、松尾芭蕉が門人・河合曾良を帯同して東北・北陸を巡った旅を文章と俳句で著した紀行作品です。芭蕉が執筆に取り掛かったのは元禄5・6年（1692・93）ころと言われ、翌7年（1694）に能書家であった門人・柏木素龍が清書し、芭蕉自ら「おくのほそ道」の題箋を認めたとされる「素龍本」が完成したと考えられています。

なお、『おくのほそ道』は推敲過程で書写されたものもあり、素龍とは別の門人が書写し、曾良に与えられて伝来した「曾良本」や素龍が「素龍本」とは別に書写した「柿衛本」がよく知られています。また、平成8年（1996）に発見され当時話題になった「芭蕉自筆本」もあり、これら諸本の系譜については、なお議論を重ねる必要があるようです。

さて、元禄7年、完成した『おくのほそ道』を携え旅に出発した芭蕉は、その年の10月に大坂で51年の生涯を閉じます。旅の途中、故郷に立ち寄った芭蕉は兄の松尾半左衛門に『お

くのほそ道』を渡したそうですが、芭蕉没後は遺言によって門人・向井去来の手に渡り、その後も次々と所有者を変えて伝わっていくこととなります。

元禄15年（1702）、「素龍本」を基に京都の書肆井筒屋庄兵衛から版本が刊行され、その後も時を経て増し刷りされていきます。版本は大きく元禄版、明和版、寛政版に分類されていますが、当館蔵『おくのほそ道』は、奥付に「寛政元年再板 諧仙堂蔵板 洛陽蕉門書林 井筒屋庄兵衛 樽屋治兵衛 浦井徳右衛門」と記されており、寛政元年（1789）に再板された寛政版の一種であることが分かります。また、板木の所有権が井筒屋ではなく諧仙堂という書肆に移っていますが、このころの井筒屋は、経営難に陥っていたらしく、多くの板木の所有権を売り払っていたそうです。

なお、多数の版本が存在する『おくのほそ道』ですが、本文には変化が見られません。芭蕉を尊崇する書肆の思いが偲べれます。

◆れきみん歳時記（令和元年10月～令和2年1月）◆
 歴史民俗資料館で開催した講座やイベントなどの取組を紹介します

10月 おなじみの企画展講座



秋季企画展は、おなじみの「日光道中草加宿と参勤交代」です。今年は一関藩を取り上げて展示しました。企画展講座も千葉一大先生（青山学院大学講師）をお迎えし、大勢の方にご参加いただきました。

12月 昔の暮らしを学びます！



秋になると、昔の暮らしを勉強するため、市内小学校3年生の児童が社会科見学に訪れます。昔の農機具や古い生活用品は、子どもたちにとっては初めて見るものばかり。興味津々で使い方を学んでいました。

11月 没後60年の節目に



郷土作家の豊田三郎が没してから60年目を迎えた11月、豊田三郎研究の第一人者である染谷湧先生（文芸評論家）をお迎えし、豊田三郎の人生を振り返る講座を開催しました。

1月 大人も楽しめる体験教室



「子どもに大人気の体験教室は、大人の方も楽しめるはず」との考えから、大人向け体験教室「まが玉作り」を開催しました。形を削って、好きな色に塗装したりと、みなさん楽しみながら、まが玉を作りました。

◆企画展の次回予告

タイトル：「端午の節句展」

開催期間：令和2年4月21日（火）～5月17日（日）

市民の方々が制作したミニ鎧兜やつるし飾りを展示します。
開催期間中は鯉のぼりを揚げるほか、5月5日（火）には野点を催し、お抹茶と和菓子を振る舞います。



初夏の風になびく鯉のぼり

◆団体見学のお申し込みをお待ちしています

歴史民俗資料館では、団体見学のお申し込みをお受けしております。

職員の展示解説や懐かしのSPレコード鑑賞など、お時間に応じた案内プログラムをご用意しておりますので、ぜひお申し込みください。

お申込み電話番号 048-922-0402



草加市立歴史民俗資料館 facebook やってます！！

皆さんに草加市の歴史や文化、歴史民俗資料館の活動を伝えたくて公式フェイスブックページを開設しています。
様々な情報を発信していきますので、ぜひご覧ください！

草加市立歴史民俗資料館

市公式ホームページ内の SNS ページまたは隣の QR コードからアクセスすることができます！



草加市立歴史民俗資料館

【開館時間】 午前9時～午後4時30分

【休館日】 月曜日（祝日または振替休日の場合は翌平日）
年末年始

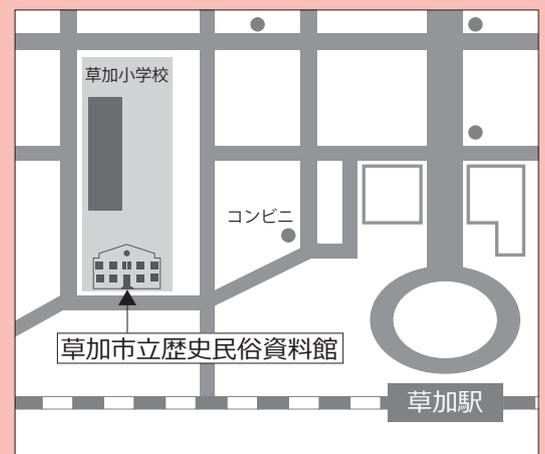
【入館料】 無料

〒340-0014

埼玉県草加市住吉一丁目11番29号

TEL:048-922-0402 FAX:048-922-1117

E-mail:sokarekimin@city.soka.saitama.jp



東武スカイツリーライン「草加駅」東口徒歩7分
駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

れきみんだより vol.7

発行日：令和2年（2020）2月20日 編集・発行：草加市立歴史民俗資料館